

# GMB REPORT

第52期 中間報告書 | 2013年4月1日～2013年9月30日



TOKYO  
STOCK EXCHANGE  
2013年  
東証上場

株主の皆様へ

TO SHAREHOLDERS

## ■ 円高修正により販売が回復。更なる体質強化で通期の純利益は前期比倍増を計画。



代表取締役会長

松岡 信夫



代表取締役社長

阪口 有一

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに、第52期(2013年4月1日～2014年3月31日)上半期の中間報告書をお届けいたします。

当期の上半期における経済状況は、わが国においては、円高修正による企業業績の回復や雇用の改善など、景気回復の兆しがみられました。海外においては、米国の景気回復基調が継続するなか、欧州景気の長期化や中国・インドなどの新興国における経済成長の鈍化など、世界的な景気の不透明感が続いております。また、自動車業界においては、東南アジア、北米市場など需要が堅調に推移いたしました。

このような環境のなか、当社グループにおいては、韓国における新車用品の販売が順調に推移するとともに、海外補修用市場における販売の円高修正により回復が続きました。また、新車用・補修用両市場において取扱製品の増加や販路拡大による一層の販売増加とコスト競争力の強化などに努めてまいりましたが、海外拠点の件費の増加、為替換算変動によるアジア生産拠点の輸出採算悪化や日本における輸入コストの上昇、販売経費の増加などの費用増加を吸収することはできませんでした。

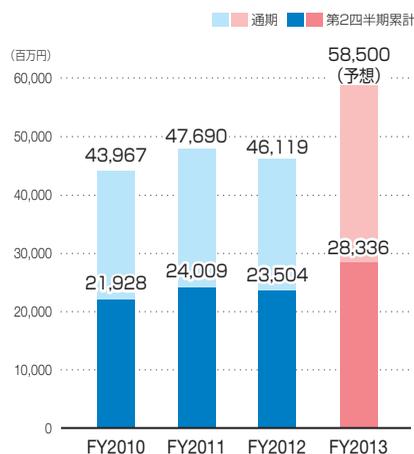
この結果、上半期の業績は売上高が28,336百万円(前年同四半期比20.6%増)、営業利益は833百万円(同31.0%減)となり、経常利益は為替差益を計上するなどして1,193百万円(同14.7%増)、四半期純利益は482百万円(同9.0%増)となりました。

また下半期でも上半期の傾向が続くことが予想され、通期の連結の業績は、売上高58,500百万円(前年同期比26.8%増)、営業利益1,900百万円(同45.3%増)、当期純利益850百万円(同104.1%増)を見込んでおります。

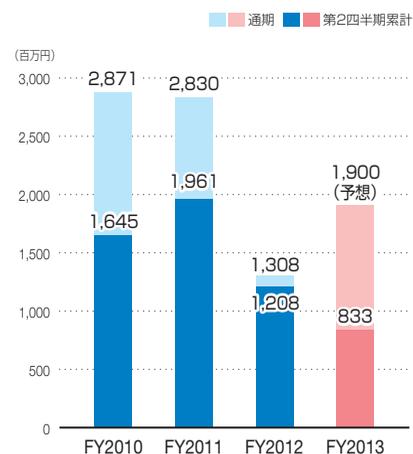
## ■ 財務ハイライト

FINANCIAL HIGHLIGHTS

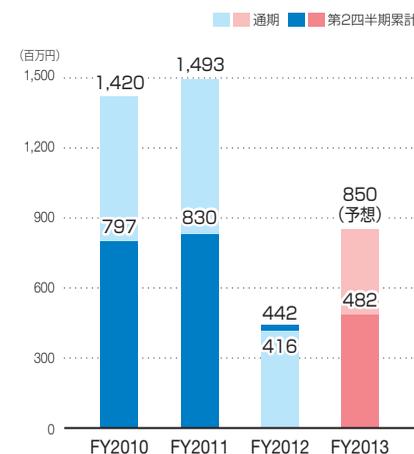
### ● 売上高



### ● 営業利益

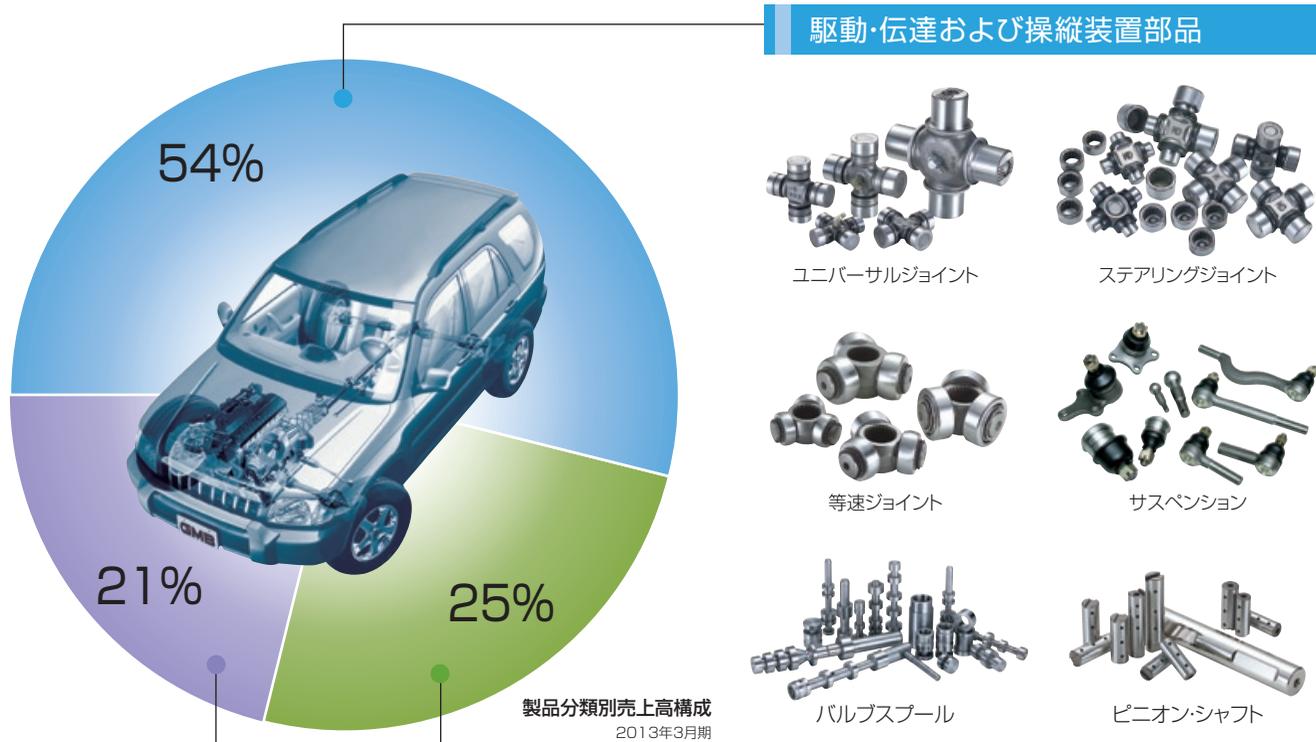


### ● 四半期(当期)純利益



# 世界の自動車市場で活躍するGMBブランド。

GMBグループは、独立系の自動車部品メーカーとして、駆動・伝達系やエンジン部品といった多様な機能部品を、新車用部品と補修用部品の両市場に向けてグローバルに製造・販売しております。韓国メーカーをはじめとするグローバルな顧客・海外補修用市場で培ったブランド力・海外拠点・量産加工技術などの既存の事業基盤を活かして新市場・新規顧客・新製品の開拓を進めながら、世界の自動車市場において着実な事業の拡大を目指します。



## 駆動・伝達および操縦装置部品



## ベアリング



## エンジン部品



## 連結財務諸表

### 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当第2四半期末 2013年9月30日現在	前期末 2013年3月31日現在
流動資産	30,773	26,721
固定資産	22,539	20,928
資産合計	53,313	47,650
流動負債	19,798	16,450
固定負債	8,124	7,883
純資産合計	25,390	23,316
負債及び純資産合計	53,313	47,650

### 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期累計 自 2013年4月1日 至 2013年9月30日	前第2四半期累計 自 2012年4月1日 至 2012年9月30日
売上高	28,336	23,504
営業利益	833	1,208
経常利益	1,193	1,040
四半期純利益	482	442

### 連結キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

科目	当第2四半期累計 自 2013年4月1日 至 2013年9月30日	前第2四半期累計 自 2012年4月1日 至 2012年9月30日
営業CF	1,747	1,356
投資CF	▲1,660	▲1,793
財務CF	606	294

#### POINT

当期の設備投資は、韓国・中国の生産拠点の生産能力の拡充を中心に、年間37億円を計画しております。上半期では約16億円の設備投資を実施いたしました。

#### POINT

円高修正の影響もあり売上高が回復しましたが、海外拠点の人件費や輸入コストUPにより営業利益は前年同四半期比で31%減少しました。

#### POINT

上半期は、主に利益と運転資金収支の改善などにより、営業活動によるキャッシュ・フローが前年同四半期よりも増加しました。

## 創業70周年

GMBは1943年3月、大阪市生野区にて、創業者の松岡斗謨により金属加工を営む「松岡精工所」として産声をあげました。その後工場を移転・拡大しながら、いち早く海外へ目を向け今のグローバル体制を構築しました。創業70周年となる今年は、お客様に感謝の気持ちと伝統をお伝えする活動を展開しております。



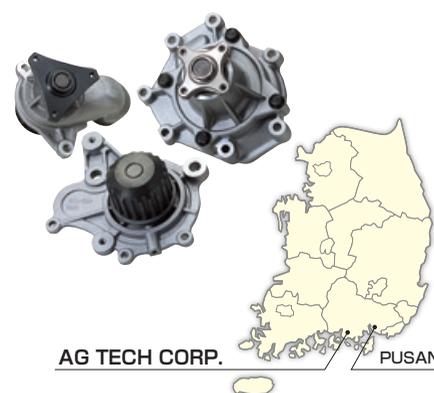
## 2013年7月より東証一部上場

2013年6月17日をもって、当社株式は大阪証券取引所市場第二部より同市場第一部銘柄に指定されました。また、同7月16日に、大阪証券取引所と東京証券取引所の現物市場の統合により、東京証券取引所市場第一部へ上場しました。今後も皆様方のご期待にお応えすべく、更なる業績の拡大と企業価値の向上を目指してまいります。

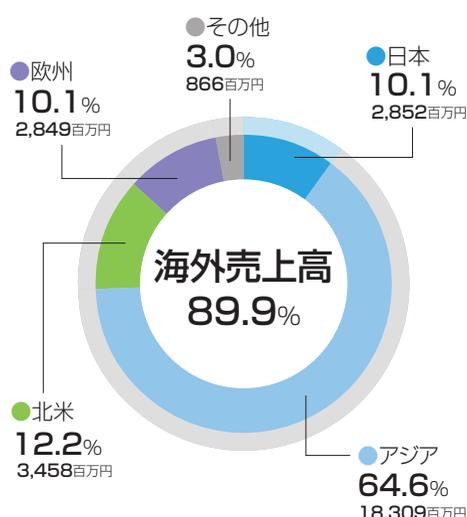


## 韓国に連結子会社を設立

2013年4月、当社の主力製品でありますウォーターポンプの専門工場として、韓国の連結子会社GMB KOREA CORP.の既存工場の近隣に、新たな生産拠点として、AG TECH CORP. を設立しました。GMB KOREA CORP.の既存工場が手狭となるなか、コストや税制面で外資優遇のある「馬山自由貿易地域」内の賃貸工場を活用することで、投資額と維持コストを抑えつつ、ウォーターポンプおよび需要の拡大が見込まれる電動ウォーターポンプ、将来的には構成部品のモーター関連部品も視野に、ウォーターポンプ関連製品を集約し、技術を蓄積していきたいと考えております。



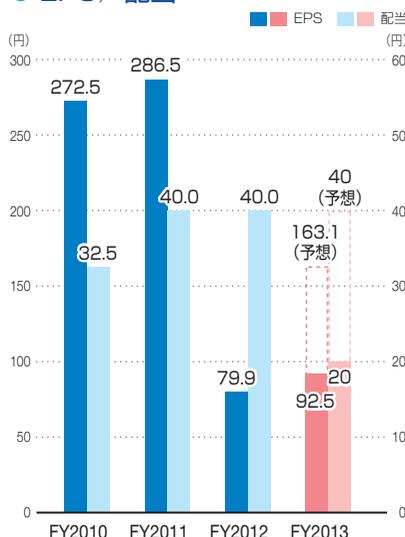
## 海外売上高



(2014年3月期 第2四半期累計地域別売上高)

## 配当および経営指標

### EPS/配当



### ROA/ROE

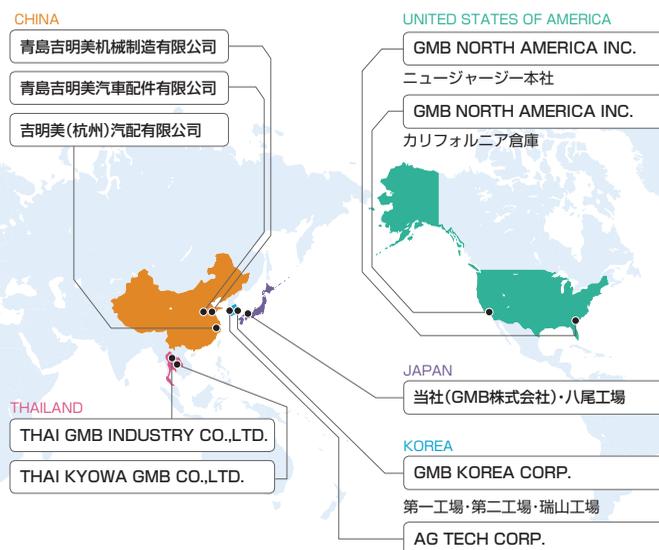


## 会社概要 (2013年9月30日現在)

## COMPANY PROFILE

商号 GMB株式会社  
 会社設立 1962年5月  
 資本金 838,598,000円  
 代表者 代表取締役会長 松岡信夫  
 代表取締役社長 阪口有一  
 従業員数 連結 2,724名 単体 376名  
 事業所 本社・奈良工場  
 〒636-0295 奈良県磯城郡川西町大字吐田150番地3  
 TEL.(0745)44-1911(代) FAX.(0745)44-1930  
 八尾工場  
 〒581-0814 大阪府八尾市楠根町4丁目20番1号  
 TEL.(072)997-1521(代) FAX.(072)997-2481

## GMBネットワーク



## ホームページのご案内

ホームページでも当社の会社情報や最新のIR情報がご覧いただけます。

<http://www.gmb.jp>



## 株式の状況 (2013年9月30日現在)

## STOCK INFORMATION

発行可能株式総数 19,000,000株  
 発行済株式の総数 5,212,440株  
 株主数 2,766名  
 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
松岡 信夫	1,096,775	21.0
松岡 登志夫	440,350	8.4
松岡 光子	416,375	8.0
GMB従業員持株会	227,770	4.4
松岡 百合子	199,625	3.8
松岡 弘枝	122,500	2.4
金本 順子	98,750	1.9
松岡 祐吉	91,125	1.7
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	64,000	1.2
南北 一雄	54,350	1.0

(注) 持株比率は、小数第2位以下を四捨五入して表示しております。

## 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで  
 定時株主総会 毎年6月  
 期末配当金受領株主確定日 3月31日  
 中間配当金受領株主確定日 9月30日  
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 特別口座の口座管理機関  
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 大阪証券代行部  
 〒541-8502  
 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
 TEL 0120-094-777(通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所  
 公告の方法 電子公告により行う  
 公告掲載URL <http://www.gmb.jp>  
 (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告します。)  
 証券コード 7214

## ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。